

FOR  
H  
O  
R  
S

THE 2<sup>nd</sup>

CHORUS CONCERT



賛助出演 神戸商科大学グリークラブ  
神戸大学交響楽団

1964. 11. 28 (土) PM 6:00

於 神戸農業会館五階ホール

主催 神戸女子薬科大学コーラス部

## 賛助のことば

神戸女子薬科大学コーラス部第2回定期演奏会おめでとうございます。私達神戸商科大学グリークラブも発足以来12年目を迎え、最初の頃の数名の集まりから今や50名を数え、先輩達の伝統の上に尚一層の磨きをかけんものと精進致しております。此の度、薬大コーラス部第2回定期演奏会に賛助出演させて頂く機会を得ましたことを部員一同心より光栄に存じております。男声、女声の違いこそあれ同じ音楽という芸術の町であれば必ずや芸術性も追求出来るものと思っております。そういう意味でも薬大コーラス部の演奏会に少しでも役立つことが出来、賛助の役割が果せることができるならば、私達の喜びもこれに増すものはございません。私達も一歩一歩力強く歩んでゆく覚悟でございます。

最後に薬大コーラス部の今後の御発展を祈りつつ、日頃の練習の成果を十二分に発揮されて、今夕の定期演奏会を成功裡に終えられ、今後共益々御活躍されますようお祈り致します。

神戸商科大学グリークラブ

---

## 賛助出演に惟う

神戸女子薬科大学コーラス部のこの1、2年間のめざましい発展と、今日の第2回定期演奏会の盛会に対し、心からなる祝福をおくります。そしてここに至るまでの部員の皆様方の努力に対し、深い敬意を感じております。私達のオーケストラも明後日に定期演奏会があり、充実した気持で演奏できます。ところで、コーラスとオーケストラでは音楽的性質の異なつた面もあります。しかし、音楽史をひもとくまでもなく、器楽が16世紀のルネサンスの頃に声楽から独立派生し、以来互いに深い影響のもとに今日に至っていることはよく知られております。私達の技術の未熟さ故にその様な音楽面の影響は望めぬにしても、神戸の二つの大学の音楽サークルが、互いに一つの演奏会で演奏できるだけでも和やかで、楽しくまた意義あることと思ひます。

神戸大学と薬大コーラスとの交流は私達で昨年のグリークラブに続いて2度目ですが、今後、この様な協力を通じて、両大学の学芸の交流が一層活発になるよう願つています。

神戸大学交響楽団部員一同

# ぷろぐらむ

司会 末広真樹子

## I 三つの聖歌 (信仰、希望、愛)

ロツシーニ作曲

指揮 安井瑞江  
伴奏 間瀬小波

「求めよ、さらば与えられん」「神は愛なり」等の言葉が表わす様にキリスト教は愛の宗教だと言われます。聖書「コリント人への第一の手紙」の第13章に「信仰と希望と愛の三つは限り無く残らん」という言葉がありますが、ロツシーニの「三つの聖歌」は、この言葉の内容を具体的に言い表わしています。彼は晩年になつて失意の半生を送りながら優れた宗教作品を書き上げました。中でも「信仰、希望、愛」は彼の他の作品に比べて小曲ですが、互いに似通つた内容でありながら1曲毎に趣きを変え個性のあるまとまりを見せています。美しく自然なメロディ、三声でありながらふくらみのあるハーモニー、女声合唱という狭い音域内での対位法の巧みさ、短い曲でありながら聖歌らしい大きさを感じさせるなど数々の優れたものを発見できます。

心悩み苦しむ時 寄る辺なき身のくずおる時  
きらめく光 輝やき照らす我が心を……

## II 中田喜直作品より

指揮 花岡桂子  
伴奏 松本澄代

### 緑の夏

大きな緑の木の枝に、もぎたてのリンゴの実に夏の太陽は金色に輝く、そんな夢のある夏を歌った曲。

### 美しい季節

風のリボンに頬をよせて、そっと水色の思い出を見つめましょう。美しい夏の淡い恋の思い出を可愛いく歌った曲。

### 秋の歌

かの有名な藤村の詩で、稔り豊かな秋の歓びと秋の美しさ、もの悲しさを表現しています。秋のしみじみとした気分を味つて下さい。

### 七つのフランスの子供の歌

この曲集は7つのフランス民謡の旋律に、ピアノ伴奏と前奏、後奏をつけてひとつの組曲にしたものです。子供らしいあどけなさがおりこまれております。

### Ⅲ 賛助出演 神戸大学交響楽団

交響曲第八番〔未完成〕より

第一楽章 F・シューベルト作曲

指揮 大 軒 護

---

## Intermission

---

### Ⅳ 抒情短曲四章

作詩 大 木 惇 夫

作曲 清 水 脩

指揮 安 井 瑞 江

伴奏 松 本 澄 代

#### 野 葡 萄

秋、かすかに冷たさを感じる頃、広い野原に葡萄が瑞々しく豊かに実っています。ひっそりと、しかもサファイヤの様に輝いて、しかし、よろこび溢れる実りの秋にも、どこかものがなしさを覚えるのは野葡萄の光が強すぎるからでしょうか？

#### 春のめざめ

冷たい冬がようやく去り夢多き春がやつて来ようとしています。ほんのりとした春の抒情的ムードを軽快なリズムに織り込んでロマンティックな春の訪れをよこんで歌います。ほのかな君の思いをしつかりと胸に秘め、春の夢の世界へと巣立って行きましょう。

#### 出 船

出船、入船でにぎわう港も出船の時はやはり寂しさをそそる場合が多い。まして月夜はなお哀しい。いとしい人を送り出した後、ひとりたずむ夜の海辺……何とも言えない孤独感におそわれる。遠い波の彼方に消えてしまった船のかすかなこだまは今も山に残っているのに……もう行つてしまつたんだ。……

#### 秋 風 の 唄

秋の日はつるべ落しと言われますが、美しい山の日入りも本当にまたたく間の事。そして冷たい秋風が吹いて来て……またすぐに情景が変わってしまう。やはりつれないものは人ごころ？ 山の日入り？ 秋の風…？